

01

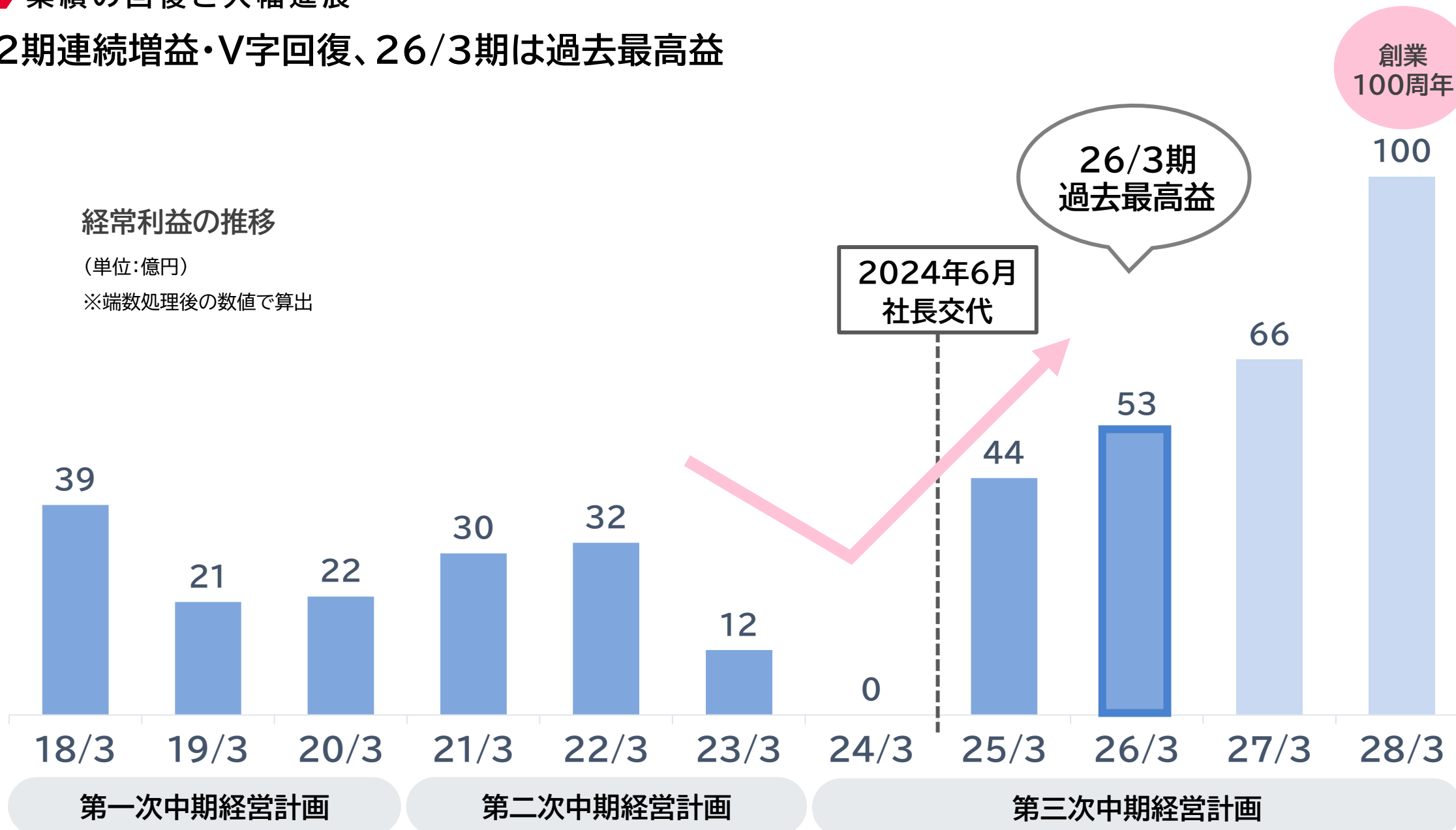
決算ハイライト・経営アップデート

2期連続増益・V字回復、26/3期は過去最高益

経常利益の推移

(単位:億円)

※端数処理後の数値で算出



経営方針および経営体制を一新

2025年3月期
~2026年3月期

選択と集中・経営体制を整備

国内事業基盤の再整備

リテールサービス戦略の強化

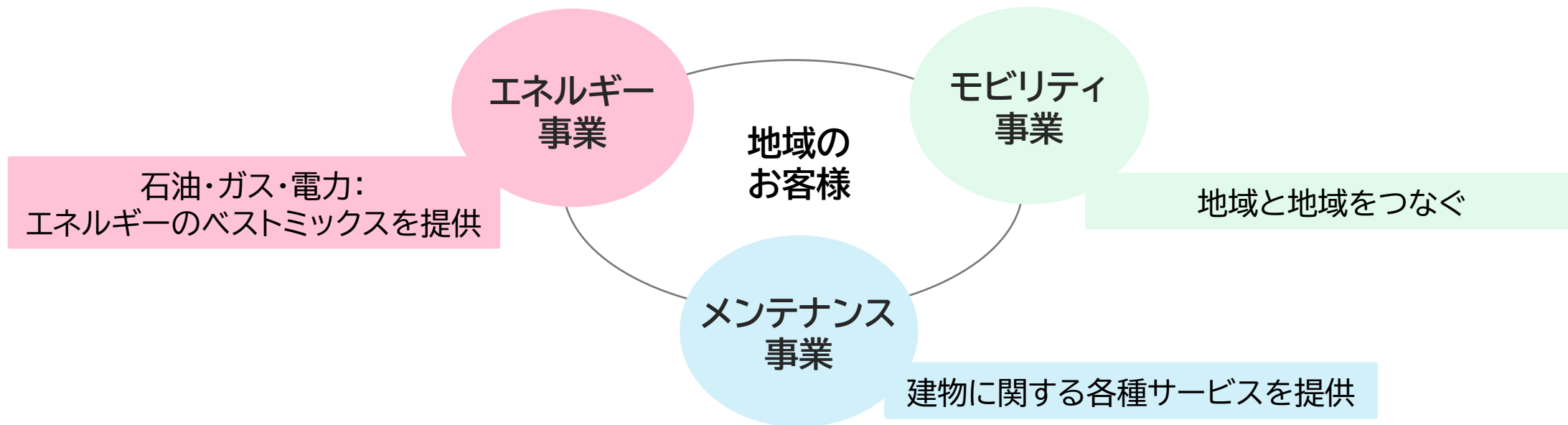
主力4社の統合

グループの一体化

子会社の一部売却

2027年3月期

サービス会社へ変革：地域に新たな価値を提供



2027年4月、シナネンホールディングスグループは創業100周年を迎えます

2026～2027年度

- ・ 第三次中期経営計画の仕上げ
- ・ 成長のための変革

エネルギー会社から
サービス会社に進化

2028年度～

次の100年に向けて
地域から選ばれる会社へ

新ミッション

世界に誇れる地元をつくる

地域のお客様の暮らしを支え、建物を支え、移動を支え、地域の価値を高めてまいります

当社グループの存在意義を再定義：ミッション・ビジョン・バリューを更新

Mission

ミッション

世の中に対して果たすべき「使命」
-私たちが「いま、何のために存在しているのか」を
社会や顧客に示す“約束”

Vision

ビジョン

ミッションを実現するために「目指す姿」
-私たちが「これからどうなりたいのか」を
社内外に示す中期的な“目標”

Value

バリュー

ミッションやビジョンの実現に向けて大切に「行動指針」
-私たちが「どう考え、どう動かすか」を示す、
一人ひとりが日々意識する“判断軸”

世界に誇れる地元をつくる

Be the First Company to Contact

より多様なサービスを提供し、地域の人々・企業・自然環境に新たな価値を創出。課題解決をリードし、大きく貢献する「地域の多様な価値を高める会社」を目指します。

期待を超える ～ 真摯に向き合い、心に残る品質を届けよう ～

誇りを磨く ～ 今日の仕事にこだわり、明日の成長につなげよう ～

共創を楽しむ ～ 強みを持ち寄り、新たなカタチをつくろう ～

2027年度の創業100周年に向けて、ロゴを刷新



SHINANEN HOLDINGS GROUP

<SとNの組み合わせ>

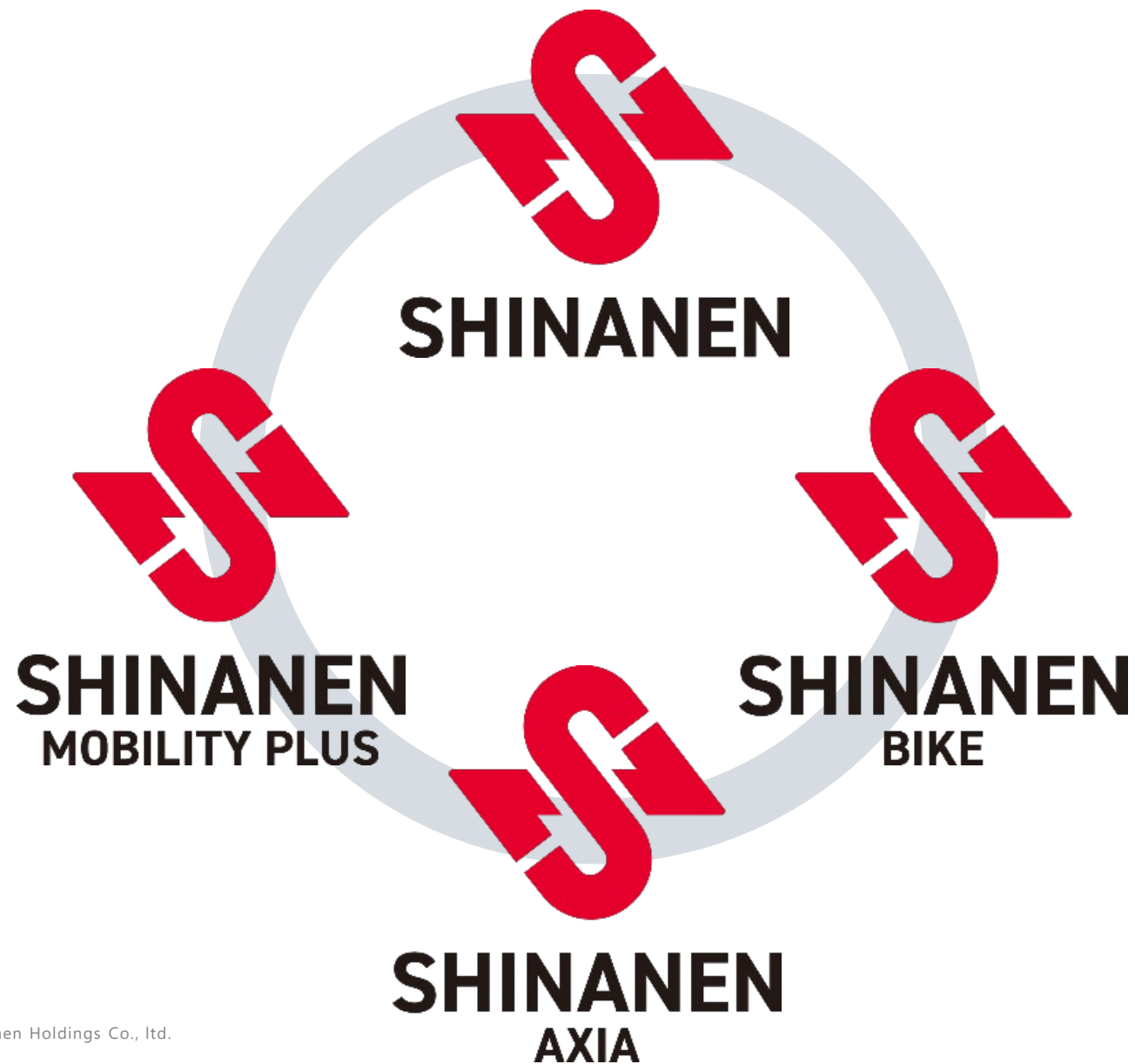
1. SN … シナネンをイメージ
2. インフィニティ(∞) … 無限と循環
3. 「八(8)」… 未広がり
4. 磁石のS極とN極 … 互いに惹き合う



- ◆ 継続的に価値を生み出していく。
- ◆ 異なる強みや価値が引き寄せ合い、つながりを生み出していく。

2026年7月1日より順次変更して参ります

2027年度の創業100周年に向けて、各社のブランドを統一



2026年3月期 決算概要

(単位:億円)	25/3期 通期 実績	26/3期 通期 実績	YoY (額)
売上高	3,171.1	2,987.5	▲183.6
売上総利益	391.7	391.3	▲0.4
販売費及び一般管理費	351.6	347.2	▲4.3
営業利益	40.0	44.0	+3.9
営業外損益	4.7	9.7	+5.0
経常利益	44.8	53.8	+8.9
特別損益	▲9.5	3.0	+12.5
税引前利益	35.2	56.8	+21.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	31.5	44.3	+12.8

(単位:億円)

売上高		25/3期 実績	26/3期 実績	YoY (額)
エネルギー事業	BtoC事業 (ミライフ3社)	753.3	712.2	▲41.0
	BtoB事業 (シナネン)	2,204.2	2,044.7	▲159.5
非エネルギー事業		211.4	228.3	+16.9
調整額		2.1	2.0	▲0.0
合計		3,171.1	2,987.5	▲183.6

営業利益		25/3期 実績	26/3期 実績	YoY (額)
エネルギー事業	BtoC事業 (ミライフ3社)	10.1	13.3	+3.1
	BtoB事業 (シナネン)	20.7	15.6	▲5.0
非エネルギー事業		6.7	10.6	+3.8
調整額		2.4	4.3	+1.9
合計		40.0	44.0	+3.9

エネルギー事業(ミライフ3社)

温暖な気候の影響による灯油・ガスの販売数量の減少およびプロパンCP価格の軟調推移により減収となった一方、前期の不採算事業撤退に伴うコスト削減により増益。

エネルギー事業(シナネン)

軽油は販売量が堅調に推移するも、温暖な気候の影響により灯油と重油の販売数量が減少したため減収、損益面では電力販売の相対取引における利幅の縮小により減益。

非エネルギー事業

総合建物メンテナンス: 集合住宅のメンテナンス業務のエリア拡大、斎場・病院等の施設運営業務が堅調に推移したことにより、増収増益。
シェアサイクル: シェアを拡大して利用件数が順調に推移したこと、価格改定を行ったことにより、増収増益。

02 経常利益推移(四半期毎)

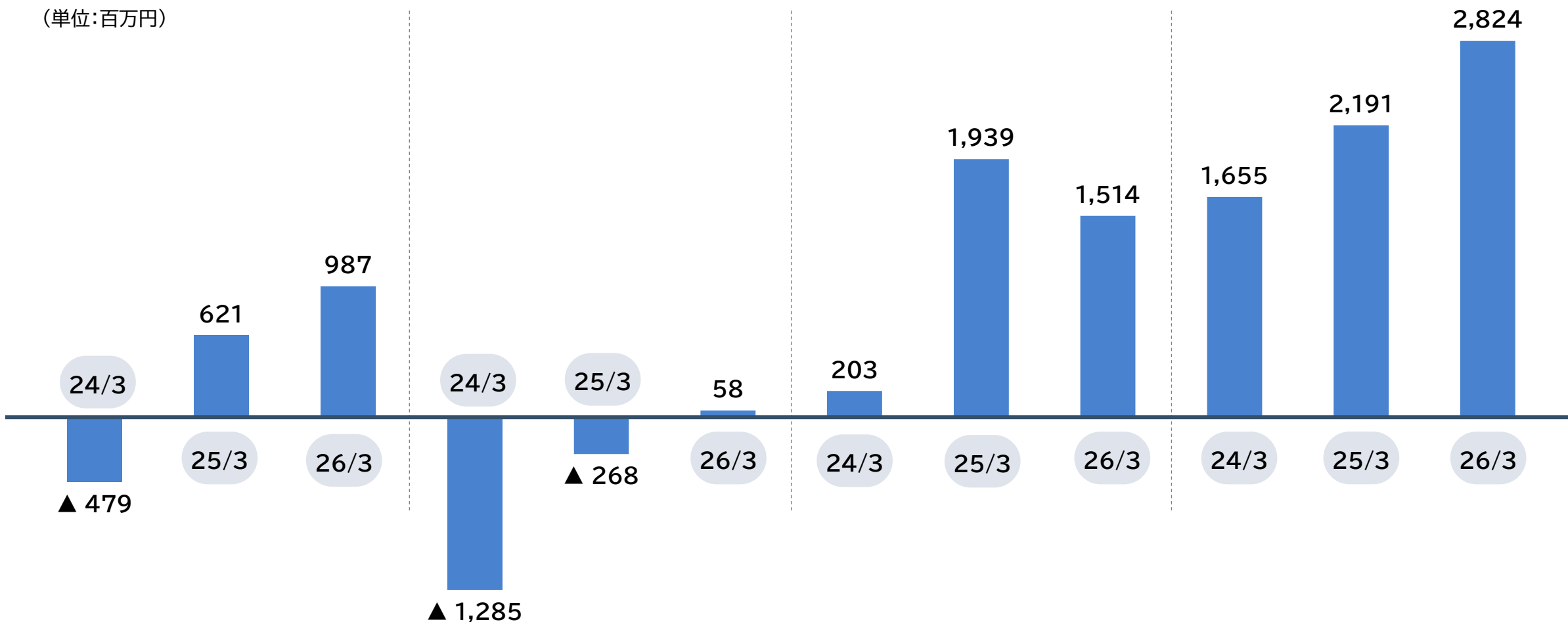
第1四半期

第2四半期

第3四半期

第4四半期

(単位:百万円)



02 親会社株主に帰属する当期純利益

当期純利益は初めて40億円台に

(単位:億円)

18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3	26/3
28	15	29	27	24	4	▲10	31	44

前期比 +13億円

<選択と集中>

- ① 事業ポートフォリオの再構築
- ② 主力事業の統合

- ① シナネンエコワークの売却
- ② シナネンファシリティーズの売却
(2027年3月期決算に反映)
- ミライフ3社・シナネンの統合

<コスト競争力の向上>

- ① 適正な人員構成
- ② 組織のスリム化

- 早期退職制度の実施

経常利益	+9億円
子会社売却益	+15億円
統合関連費用	▲2億円
特別退職金	▲8億円

25/3期 期末

総資産1,059億円

(単位:億円)

有利子負債	
現預金	40
119	
その他負債	
その他流動資産	466
509	
純資産	
有形固定資産	552
278	
無形固定資産	
21	
130	
投資その他の資産	自己資本比率
	52.1%

26/3期 期末

総資産1,080億円

(単位:億円)

有利子負債	
現預金	36
168	
その他負債	
その他流動資産	442
458	
純資産	
有形固定資産	601
259	
無形固定資産	
20	
174	
投資その他の資産	自己資本比率
	55.6%

主な変動要因

資産

- +49億円: 現預金の増加
- ▲40億円: 売上債権の減少
- +40億円: 投資有価証券の取得及び評価差額の増加

負債・純資産

- ▲40億円: 仕入債務の減少
- +48億円: 純資産の増加
- ▲9億円: 剰余金の配当
 - ▲1億円: 自己株式の取得
 - +44億円: 親会社当期純利益
 - +15億円: 有価証券評価差額金の増加

02 2026年3月期 連結キャッシュフロー:主要内容

(単位:億円)	25/3 実績	26/3 実績	YoY (額)	
営業活動によるCF	105.3	65.8	▲39.4	税金等調整前当期純利益 …… +21億円 子会社株式売却損益 …… ▲21億円 売上債権の減少 …… +36億円 仕入債務の減少 …… ▲58億円
投資活動によるCF	▲27.6	1.9	+29.6	
財務活動によるCF	▲75.9	▲18.0	+57.8	金銭の信託の解約による収入… +12億円 連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の売却による収入… +18億円
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	1.2	49.7	+48.4	
現金及び現金同等物の 期首残高	115.8	117.0	+1.2	短期借入金の増減額 …… +59億円
現金及び現金同等物の 期末残高	117.0	166.7	+49.7	

2027年3月期 通期業績予想

増収増益を見込む、ROEは8%に

(単位:億円)	26/3 実績	27/3 予想	YoY (額)
売上高	2,987	3,345	+357
営業利益	44	64	+19
経常利益	53	66	+12
親会社株主に 帰属する 当期純利益	44	52	+7
ROE	7.7%	8.4%	+0.7%

エネルギー事業 +9億円

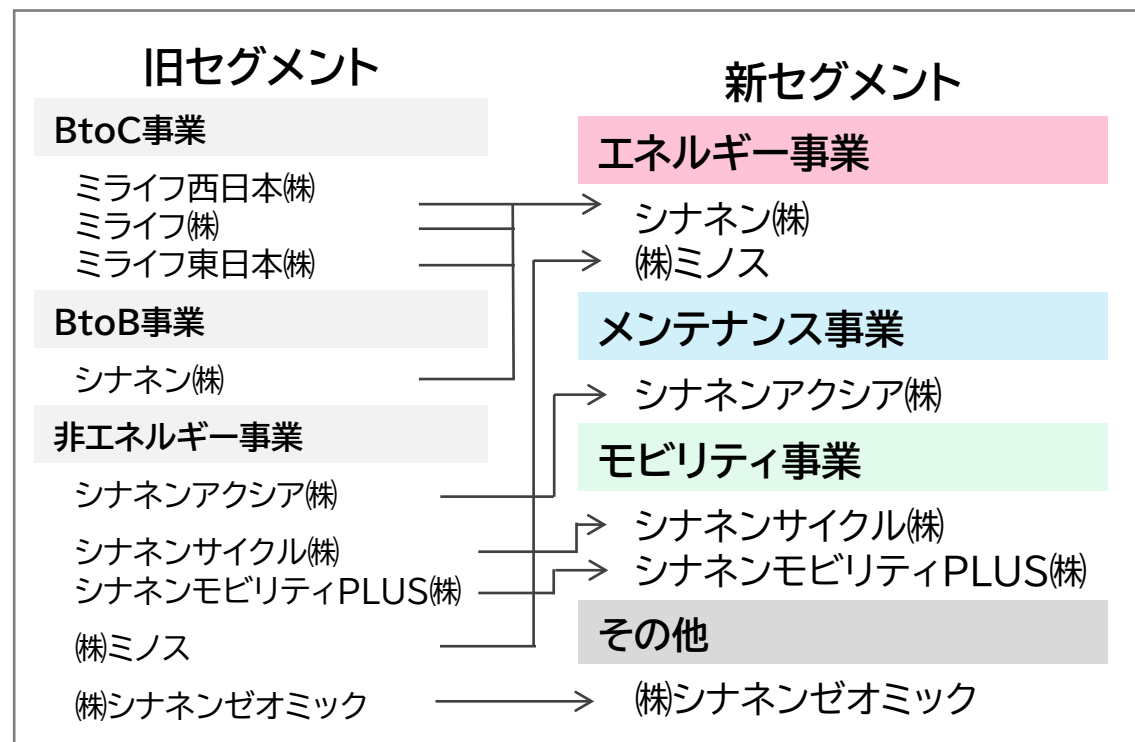
・リテールサービスの推進(顧客拡大)、コストコントロール

メンテナンス事業 +5億円

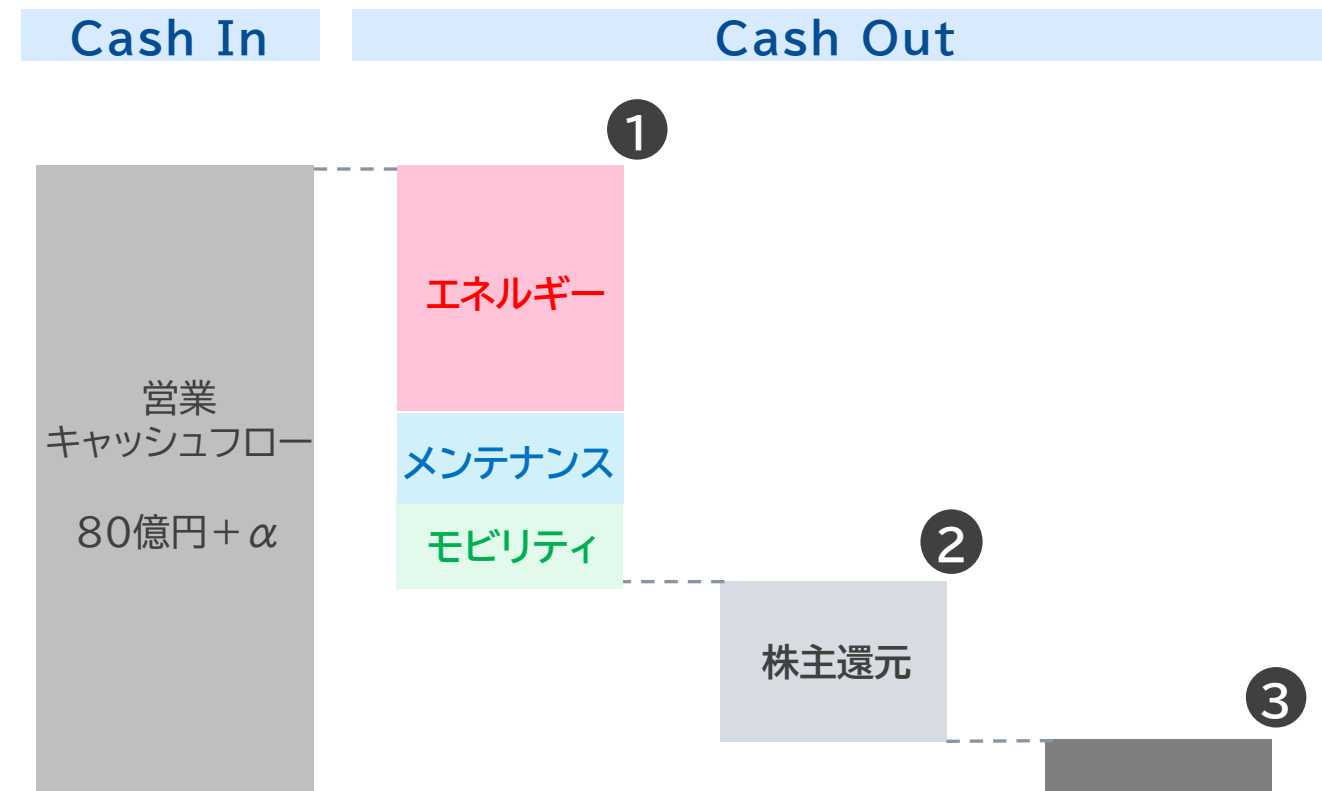
・集合住宅のメンテナンス業務のエリア拡大、利益率の改善

モビリティ事業 +7億円

・運営品質の高度化と収益性の高いエリア展開を加速



成長投資を中心に、戦略的なキャッシュアロケーションを行っていきます



1 成長投資

- ・ リテールサービスの拡充
 - ・ ガス・灯油顧客の商圈買収
 - ・ 設備更新投資
 - ・ 販売システム開発、物流効率化
 - ・ 電力(CPPA等)関連投資
- ・ 既存事業(施設の管理・清掃、斎場・病院の運営請負、集合住宅メンテナンス)の拡大
- ・ 店舗出店
 - ・ シェアサイクル関連投資

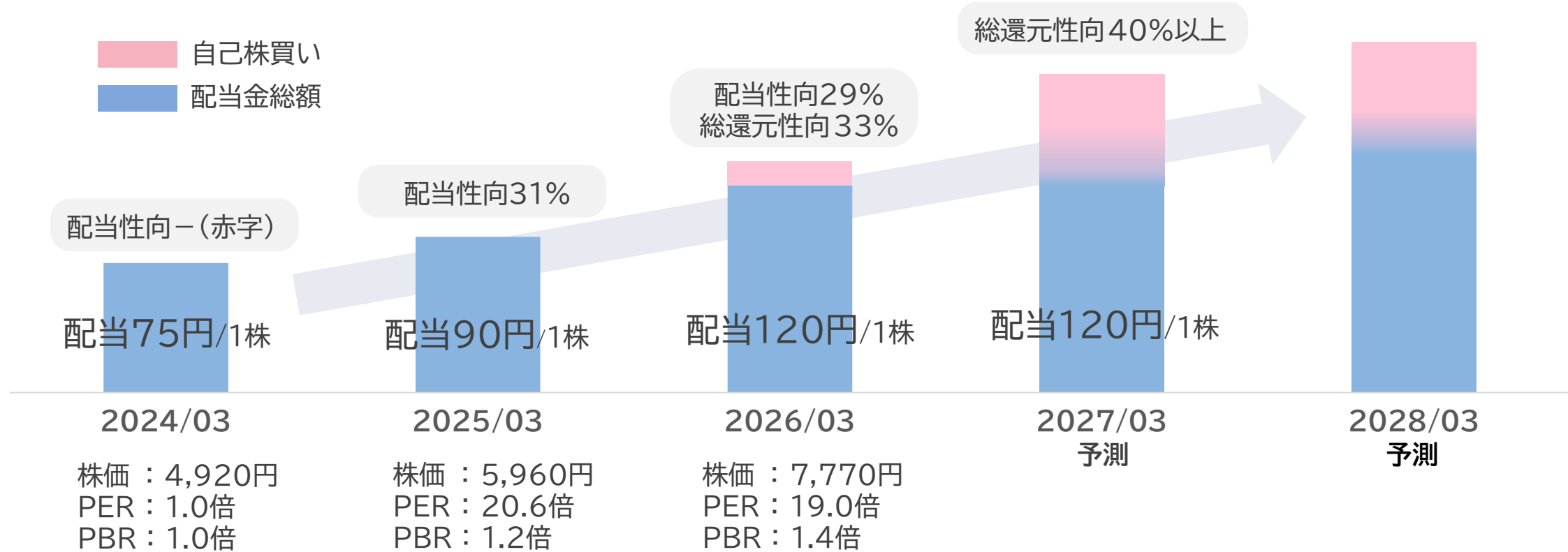
2 株主還元

- ・ 配当
- ・ 自己株式取得

3 その他

- ### 2026年3月期
1. 配当の増額(前期90円→当期120円)
 2. 配当性向30%を目安
 3. 自己株式の取得を開始
 4. 期末配当のみ

- ### 2027年3月期
1. 累進配当の導入
 2. 総還元性向40%以上を目安
 3. 自己株式の取得を継続
 4. 中間配当の実施



04

今後の営業戦略について

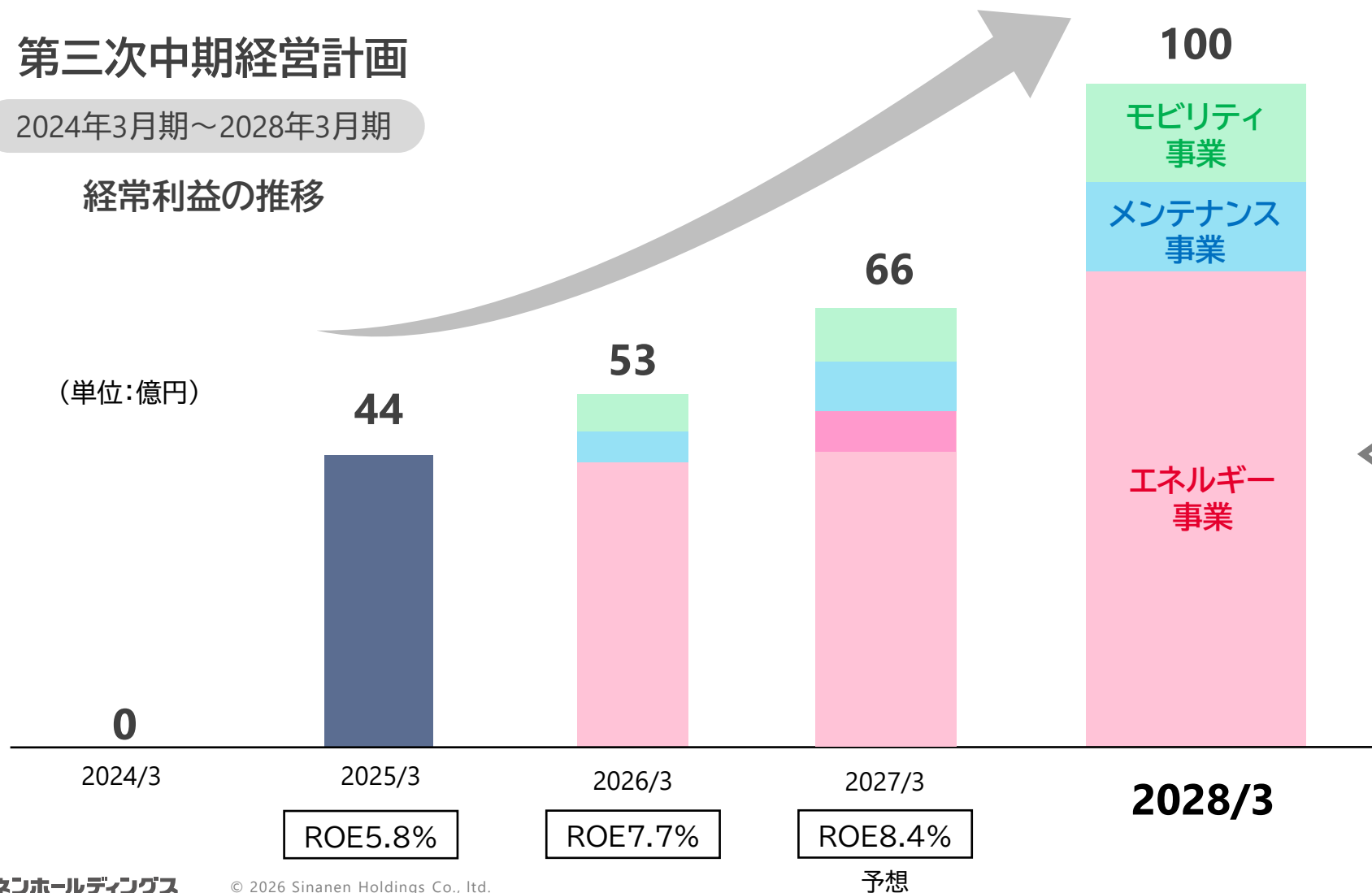
創業100周年に向けて更なる飛躍・躍進

第三次中期経営計画

2024年3月期～2028年3月期

経常利益の推移

(単位:億円)



2028年3月期
財務目標

ROE
8%以上

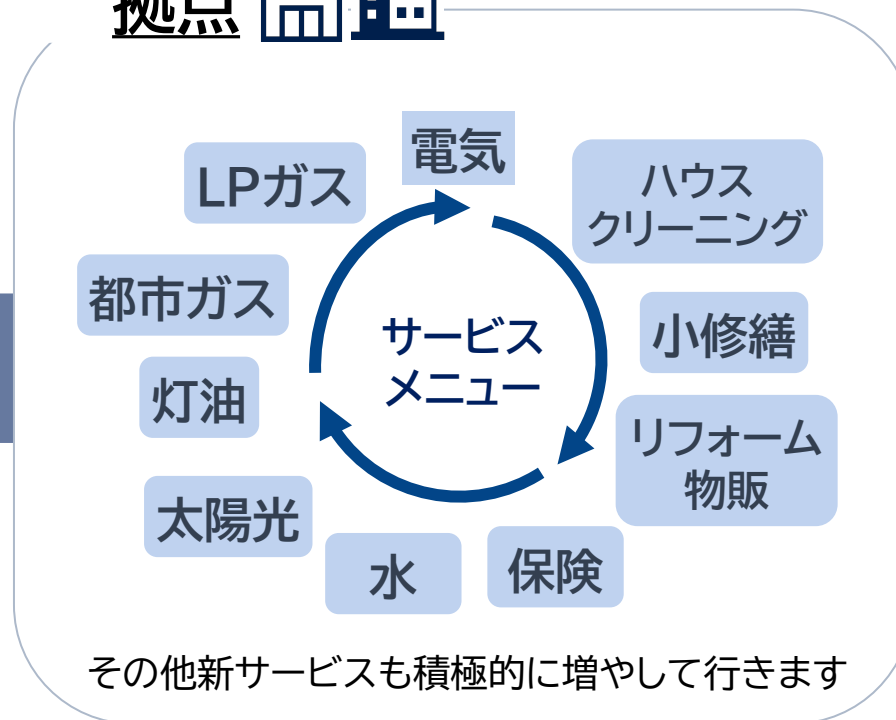
経常利益
100億円

グループ各社がそれぞれ提供していたサービスメニューを結集し、拠点を通じて街全体へ提供
顧客ニーズに応えるサービスを提案し、地域密着で推進

当社グループ



拠点

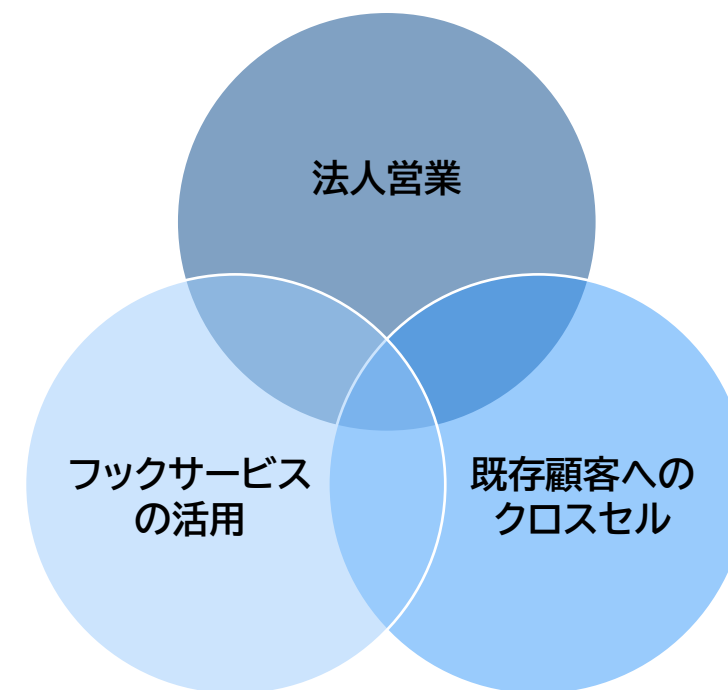
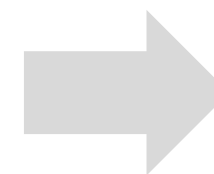


街



地域拠点がある街全体を主とし、以下の4項目を重点項目として「稼ぐ力」を強化
 2026年度においては、とりわけ「顧客拡大」を最重要課題として推進

重点項目	リテールサービス戦略
サービス拡充	全拠点でエネルギーだけでなく、住宅メンテナンスや省エネ提案等グループ商材を結集した住まいのサービスを提供
顧客拡大	街を構成する個人(住宅)、地元・地場法人(ビル・施設)、自治体、その他(団体・組合)に対し、クロスセルや新規獲得
ブランド強化	拠点を中心に地域に密着して知名度を向上、当社グループのサービス内容と品質の高さを認知していただく
競争力強化	競争力あるサービス企業となるため、サービス品質を向上し、新しいことを実施する余力を作るため、業務を効率化



エネルギー事業の今後の拡大戦略



シナネン株式会社

エネルギーのベストミックスを地域のお客様へ提供

石油分野

- 物流DXの推進
- 直販シフトの拡充
- 次世代燃料の開拓

ガス分野

- 他社提携による拡大
- 顧客基盤の飛躍的拡大
- 包括サービスの提供

電力分野

- リスク管理態勢(EaR)
- 顧客情報のDB化
- 専門性の強化

ビル・商業施設の管理・清掃、斎場・病院の運営請負、集合住宅のメンテナンス



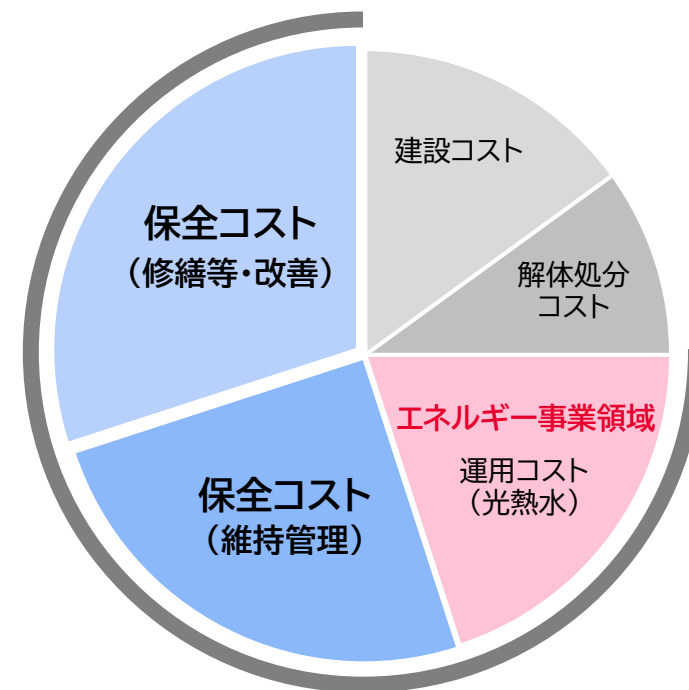
非居住用建物



居住用建物(マンション・アパート)



建物ライフサイクルコスト※
の大半が当社グループの事業領域




※ライフサイクルコスト
建築物の企画・設計から解体までの間に発生する費用の合計

出典：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(一財)建築保全センター
『平成31年版 建築物のライフサイクルコスト』より当社推計

移動を楽しく快適に

移動手段の提供を通じて、人々の暮らしを中心とした移動課題を解決
行動範囲や選択肢を広げ、安心・快適な住み続けたい街づくりに貢献

 シナネンサイクル株式会社

 シナネンモビリティPLUS株式会社



- 短距離モビリティの企画開発・OEM事業・卸売事業
- 小売店事業「ダイチャリ」 36店舗

- シェアサイクル「ダイチャリ」：一都三県並びに観光地展開
 - ・自転車投入台数 約16,000台
 - ・ステーション数 約3,000
- レンタル事業：10台～1000台まで、自転車のあらゆるニーズに対応

—— 行動範囲の拡大と選択肢の充実で、安心・快適な“住み続けたい街”を実現 ——



暮らし



仕事・観光



つながり

業績回復に向けた事業改革を推進



脱炭素社会の実現に貢献する 総合エネルギー・ライフクリエイト企業グループ

成長戦略

ii

リテールサービス
戦略の強化

i

国内事業基盤の
再整備

iii

新たな事業への
取組み

経営基盤強化

人財育成と風土改革の推進

業務・資産効率性向上

基盤

エネルギー事業会社としての責務(安定供給、保安管理)

	施策	評価	課題
成長戦略	事業ポートフォリオの変革	◎ ● 選択と集中の実行 ● エネルギー事業の主力4社の統合および非エネルギー事業の一部売却による国内事業基盤の再整備	● リテールサービス戦略の具体的な施策実施による稼ぐ力の強化
	資本効率の改善	○ ● 遊休資産の売却等によるROA・ROEの改善 ● 自社株買いの実施	● エネルギー・メンテナンス・モビリティ事業への経営資源の集中による事業の拡大
経営基盤強化	風土改革・働き方改革のさらなる推進	△ ● MVVおよび企業行動憲章の改定 ● 経営と現場の双方向のコミュニケーションを実施	● 新MVVの浸透による社員の意識と行動の変容
	人財育成の推進、人財の適正配置の実現	○ ● 人事制度の改定と人財基本方針の策定 ● 積極的な教育投資の実施および主力4社の統合に伴う人財登用と早期退職制度の実施	● 地域に新たな価値を提供できる人材の育成
	業務効率化、標準化等による生産性向上	△ ● 新販売管理システムによる営業事務効率化に着手するも遅れ ● 生成AIの積極活用を開始	● ICT・データを活用した営業と業務の効率化
	グループ経営体制の強化	○ ● 取締役会、経営会議、各種委員会の審議内容の拡充 ● 持株会社とエネルギー統合会社の本社機能の一体化によるグループガバナンスの強化	● 事業会社への権限委譲、迅速な意思決定とグループガバナンスの実効性の確保

05

Appendix

05 連結貸借対照表(要約)

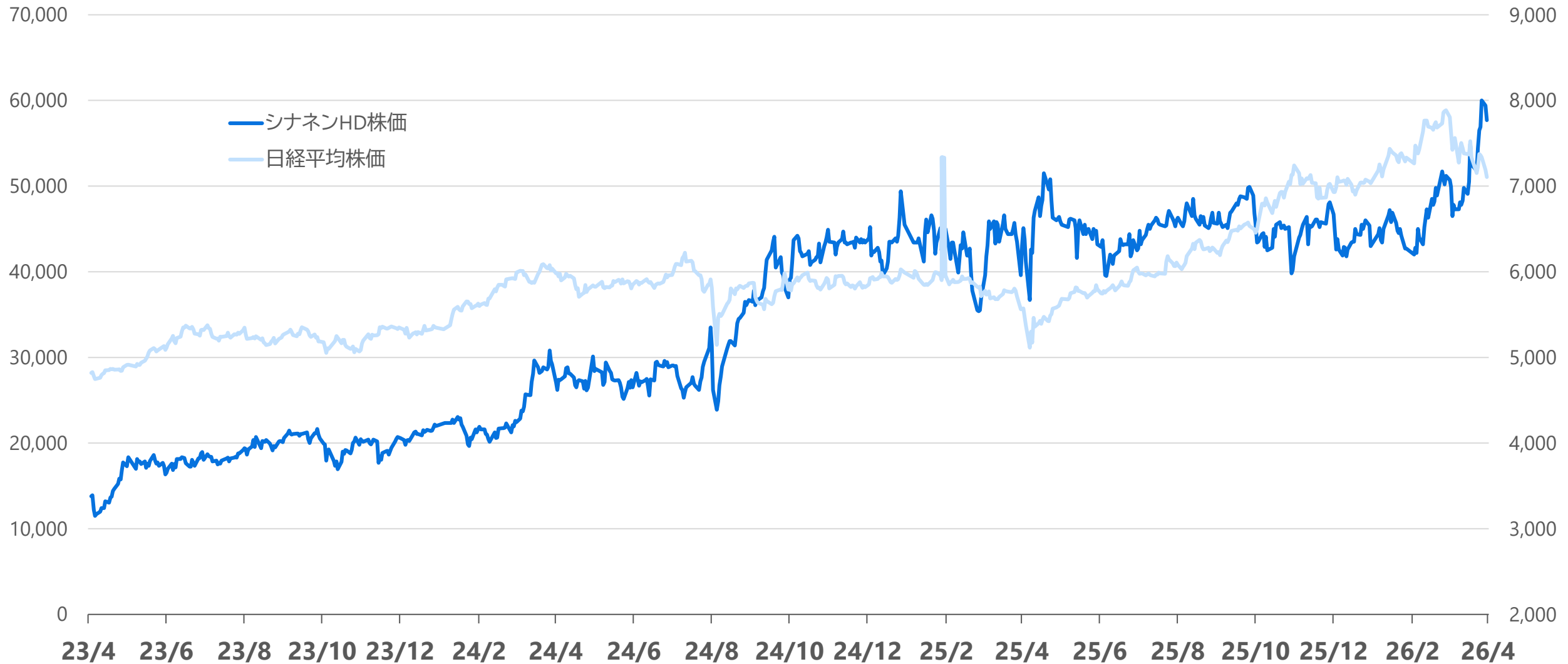
(単位:百万円)

科目	2025/3	2026/3	増減
流動資産	62,862	62,685	▲176
現金及び預金	11,919	16,871	+4,951
受取手形	605	528	▲76
売掛金	39,040	35,116	▲3,924
商品及び製品	6,884	6,143	▲741
仕掛品	429	480	+50
原材料及び貯蔵品	24	35	+11
その他	4,003	3,566	▲437
貸倒引当金	▲45	▲55	▲10
固定資産	43,072	45,397	+2,324
有形固定資産	27,885	25,952	▲1,932
無形固定資産	2,183	2,027	▲156
投資その他の資産	13,003	17,417	+4,413
資産合計	105,934	108,083	+2,148

科目	2025/3	2026/3	増減
負債	50,704	47,958	▲2,745
流動負債	43,248	40,638	▲2,610
固定負債	7,455	7,319	▲135
純資産	55,230	60,124	+4,894
株主資本	52,450	55,801	+3,351
資本金	15,630	15,630	-
資本剰余金	7,711	7,732	+20
利益剰余金	31,821	33,019	+1,198
自己株式	▲2,712	▲580	+2,132
その他の包括利益累計額	2,759	4,299	+1,539
非支配株主持分	20	24	+3
負債純資産合計	105,934	108,083	+2,148

(単位:百万円)	25/3期 通期		26/3期 通期		増減額
		売上高比		売上高比	
売上高	317,118	100.0%	298,752	100.0%	▲18,366
売上原価	277,940	87.6%	259,619	86.9%	▲18,321
売上総利益	39,177	12.3%	39,132	13.1%	▲45
販売費及び一般管理費	35,168	11.0%	34,729	11.6%	▲439
営業利益	4,009	1.2%	4,403	1.4%	+393
営業外収益	881	0.2%	1,143	0.3%	+262
営業外費用	407	0.1%	163	0.0%	▲243
経常利益	4,483	1.4%	5,382	1.8%	+899
特別利益	29	0.0%	1,863	0.6%	+1,834
特別損失	987	0.3%	1,563	0.5%	+575
税引前利益	3,525	1.1%	5,683	1.9%	+2,158
法人税等	370	0.1%	1,244	0.4%	+873
非支配株主に帰属する当期純利益	1	0.0%	3	0.0%	+2
親会社株主に帰属する当期純利益	3,153	0.9%	4,435	1.4%	+1,281

株価は上昇基調



創業99年のエネルギー事業(石油・ガス・電力の販売等)を中心とするグループ企業

会社名	シナネンホールディングス(株) (東証プライム8132)
所在地	東京都品川区東品川一丁目39番20号
代表者	代表取締役 社長執行役員 中込 太郎
資本金	156億3,000万円
創業	1927年4月11日 創業 99 年
従業員数	3,596 名(連結:臨時従業員含む)
グループ会社	連結子会社 29 社、持分法適用会社3社
事業内容	エネルギーと暮らしの両面から安心と快適をお届けする企業グループ エネルギー事業 ： 石油・ガス・電力の販売等 メンテナンス事業 ： オフィスビル、集合住宅、病院の運営管理・メンテナンス モビリティ事業 ： 短距離モビリティの企画開発・卸・小売、シェアサイクル

2026年3月31日現在

エネルギー事業

シナネン(株)
シナネンエナジーテック(株)
(株)ミノス

個人のお客様向けサービス

- 灯油、ガス、電力
- ハウスメンテナンス・クリーニング・リフォーム・リノベーション

法人のお客様向けサービス

- 石油類・ガス
(国内石油・ガス販売/輸送、灯油宅配・BCP支援、SS運営支援、船舶向け燃料等)
- 電力
- 再生可能エネルギー・太陽光発電
- ガス・電力等管理システム開発・販売



メンテナンス事業

シナネンアクシア(株)

- 居住用建物メンテナンス
- ビルメンテナンス
- 病院施設運営
- 斎場運営業務
- 不動産総合管理
- ホームファシリティ



モビリティ事業

シナネンサイクル(株)
シナネンモビリティPLUS(株)

- 短距離モビリティの企画開発・卸・小売
- シェアサイクルサービス・レンタル



当社グループで提供できるサービス内容をわかりやすくまとめたカタログを展開

https://my.ebook5.net/sinanen/catalog_202604/

■ 暮らしの「こうしたい」をカタチに

■ 解決できる困ったあれこれ

■ ハウスクリーニング

エアコンクリーニング
レンジフード・換気扇クリーニング
その他 クリーニング

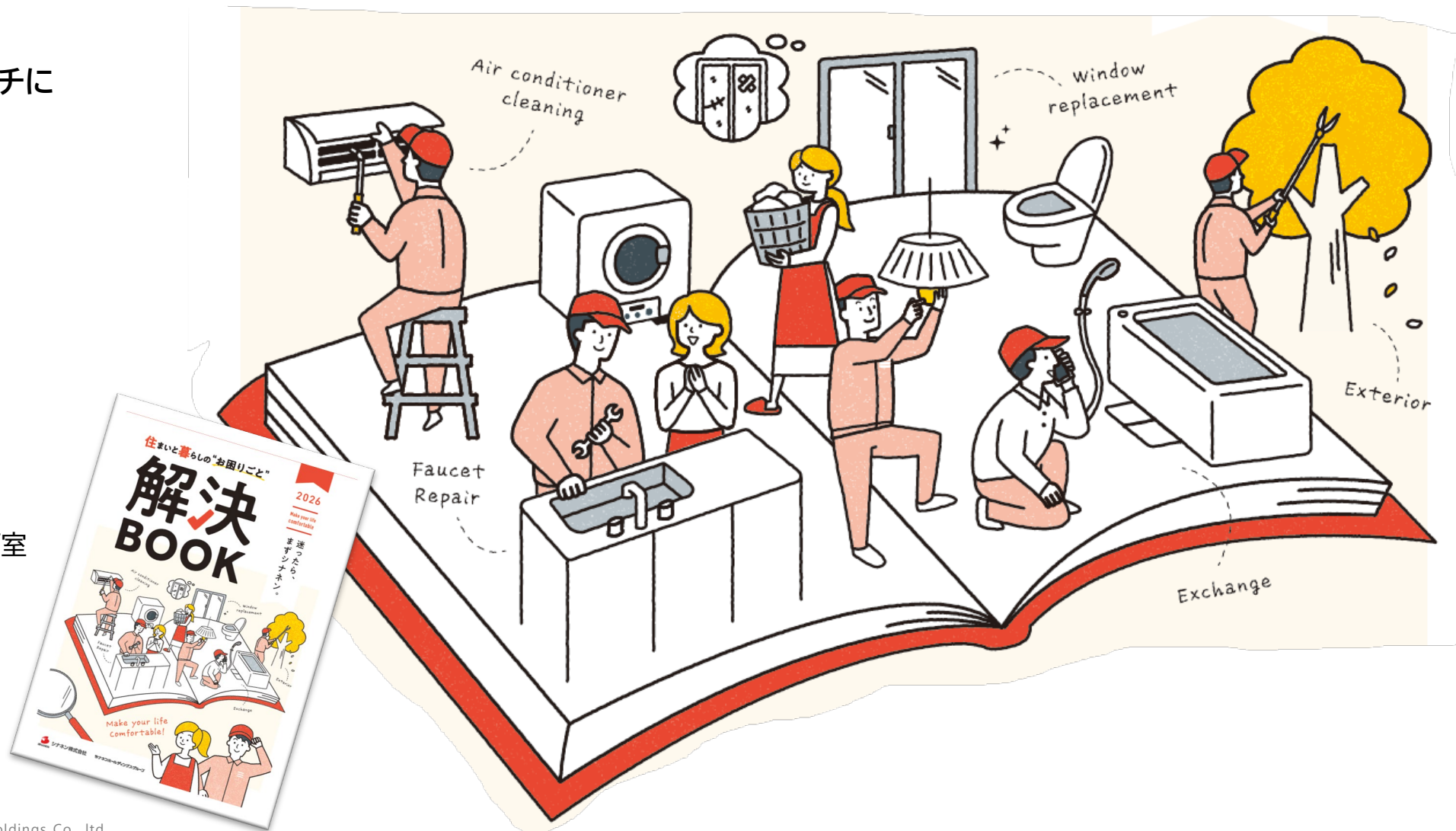
■ ハウスメンテナンス

防犯・防災特集
水まわり特集

■ 水まわりの工夫(リフォーム)

キッチン、バスルーム、トイレ、洗面室
給湯器、冷暖房、断熱、外壁

■ エネルギー



人財基本方針を新たに策定～人財に対する当社の基本的な考え方や価値観を言語化～

新ミッション「**世界**に誇れる**地元**をつくる」、新ビジョン「**Be the First Company to Contact**」の実現並びに持続的な成長を実現するために「人づくり」を最重要課題の一つと位置づけ、人財基本方針を定めました。

今後、当社グループは本方針に基づき、「人づくり」を推進してまいります。

1

個を尊重し、強みを活かす

社員一人ひとりの多様な個性を尊重し、互いの強みを活かし合う組織風土を醸成します。

2

人間力を育み、成長を支える

愛情と情熱をもって他者と関わり、周囲に良い影響を与える「人間力」を育み、社員一人ひとりの能力を最大限発揮できる環境を整え、自律的に成長できる機会を提供します。

3

地域課題に挑み、価値を創る

地域に住まう人々が抱える課題に真摯に向き合う姿勢を持ち、新たな価値を創出できる人財を生み出します。



安田倉庫株式会社との間でオフサイトPPA契約を締結いたしました。
本PPA契約は、非化石証書の付与のみによる使用電力における脱炭素化の取り組みと異なり、追加性(※)を伴うことが特徴であり、国内企業における脱炭素化の手法として注目が高まっているものです。

※追加性(additionality)とは、企業の選択した調達方法が再生可能エネルギーへの投資を促進し、化石燃料の代替に繋がっているものを表すもので、再生可能エネルギーの調達に積極的な企業のなかで、重要視されています。

シナネンホールディングスグループ



2026年3月8日に品川区で開催された「しながわシティラン2026」(主催:品川区/しながわシティラン実行委員会 以下、本大会)に、シナネンホールディングスグループとして協賛いたしました。

本大会には、シナネンモビリティPLUSが提供するシェアサイクル「ダイチャリ」の短期自転車レンタルプランを活用し、シェアサイクル50台の貸し出しを行い、救護スタッフの移動手段の確保に協力いたしました。

- 本資料にはシナネンホールディングス(株)(以下、当社)の計画、方針、経営戦略などといった、将来に関する記述があります。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく予測、計画等を基礎として作成しているものであり、不確定要素を多く含んでいます。従いまして、様々なリスクや変動要因により、実際には本資料の記述と大きく異なる結果となる可能性があります。
- 実際に投資を行う際には、本資料の情報のみによる投資判断はお控えいただき、投資に関する判断は皆様ご自身で行うようお願い致します。投資に関して生じたいかなる損失に対し当社が責任を負うものではありません。

本資料に関するお問い合わせ

シナネンホールディングス(株)

財務経理部 経理・IRチーム

✉ ir@sinanengroup.co.jp

統合報告書2025を発行しています

詳細はこちらからご覧いただけます

<https://sinanengroup.co.jp/ir/library/annual/>

